

しろね

3

昭和51年 No. 234

人口の動き 2月1日現在 人口 32,795人 前月比 +31人 (男 15,897人 女 16,898人) 世帯 7,094



桃の節句

3月3日はひな祭り、白井保育所でも園児たちがおひなさまづくりに一生懸命——。
豪華な段々びなはそれは見事です。でも、お金をかけずに、こうして子どもたちがつくった、工作びなを飾ってやるのも、より楽しい思い出につながるものです。

俳句

野仏は雪の下なり旧国道 坪川桐太郎
大寒や素足で仏立給ふ 西山了空
寒敵し友また仏の籍にはいる 知野寅五郎
信濃川浮かべる雪の列遠く 小千田宏夫
老松の下に石仏雪に座す 中山義英
雪もやに包まれて白く佐渡ヶ島 中山 中村光一

市民文芸

八川柳 白根川柳文芸会
乾盃の音頭を年のこうで取り 中村尚治
寒げいこ甘さ倍増するしるこ 成田吉子
恐鳴っても何処か丸みのある小 今井七郎
不況面消すかも知れぬ宝くじ 笠井修作
やあやあの無沙汰の友を憎まれ 大井義夫
酸欠を防ぐ我が家のすきま風 後藤まさの



国保の加入や脱退
手続きはお早めに……

今月のスポーツ大会

14日 県スポーツ少年卓球大会
午前十時三十分 白根高校。
21日 県下柔剣道大会 午前九時 白根小、旧白根中。
28日 市民雪上運動会 午前七時三十分 出発 大湯スキー場。
詳しいことは白根スキークラブ事務局(電話二六五三)へ、おたずねください。

今月の停電

▽5日 九時から十三時 真木
▽10日 九時から十一時 重古川
▽16日 九時から正午 北田中
▽18日 八時から正午 上・下茨、清水
▽19日 九時から十三時 新村、庚、道湯の一部。

善行青少年をさがしています

無料/補聴器の修理
三月九日 午前十時から午後一時 白寿荘。
修理、点検などのほかに聴力相談もいたします。

市青少年問題協議会は、「善行青少年」をたためるため、対象者をさがしています。心あたりの方は、三月十日までに教育センター(電話二八〇〇)へ、ご連絡ください。

お気軽にどうぞ

固定資産課税台帳を縦覧します
▷とき 4月9日~28日(平日午前8時30分から午後5時。土曜日は正午まで)
▷ところ 市役所2階税務課

農業所得相談

(午前9時30分~午後3時)

とき	ところ	会場
3月5日	鷺巻・大郷地区	各駐在室
8日	小林地区	農協小林事業所
9日	根岸地区	駐在室
10日	庄瀬地区	庄瀬農協
11日	茨曾根・新飯田地区	茨曾根駐在室
12日	白井地区	農協白井事業所

白根の生いたち

(12)
いあわせた古い師が「井戸掘り職人を井戸に投げ込めば鎮火する」とのご宣託。それを聞いた職人はいのちからがら逐電する。
近郷の村々からも動員の者が馳せ参じる。役人もやって来る。必死の作業七日余り、ようやく下火になったという大騒動。
「と発憤し、青年らしい情熱で、生涯を郷土文化の紹介と向上に捧げる決意を、ひれきしている。そうしてこの決意を見事に実現させた。
辞世に「娑婆へ出た甲斐や桜と南無阿弥陀」とうたい大往生をとげたと伝えられている。時に嘉永三年(一八五〇)四月七日、享年六十六歳。
一方、神龍が元氣な文政六年(一八二三)の三月二十一日に「さく井出火」の珍事が起きる。
ここ白根の中町、造酒屋金左衛門の屋敷内に、かねてから井戸を掘っていたところ、砂まじりの水が十メートル余りも吹き上げた。
家は傾き、物を投げ込むが止まらない。
いあわせた古い師が「井戸掘り職人を井戸に投げ込めば鎮火する」とのご宣託。それを聞いた職人はいのちからがら逐電する。
近郷の村々からも動員の者が馳せ参じる。役人もやって来る。必死の作業七日余り、ようやく下火になったという大騒動。



十八世紀後半ころは農業生産だけでなく、いろいろな産業の生産の増加が著しく、わりあい生活にもゆとりがでてくる。
そのせいか木下素洲や有願など——文人化人といわれるような人が世にでる。
十九世紀にはいると西笠巻・長福寺住職聞誓の弟、神龍が水戸や江戸、京都などの遊学で詩・仏典などを修めて帰郷。優字館を設けて教育に尽す。学ぶ者は三百人に達したといわれる。彼の著書は北越古今詩選ほか多数。
その書に「われ僅に二十歳にしてすでに還る。文運は一朝にして機を発す。ああ、都下の豪傑は北遊を為さざるを以て瑕と為す。邦人も亦、三都に遊ぶを以て学ばずして耻を為